

横浜災害ボランティアネットワーク会議報告書

| | |
|-----|--|
| 名 称 | 平成 27 年度 第4回運営委員会 |
| 日 時 | 平成 27 年 8 月 27 日(金) 18:00~20:00 |
| 会 場 | 横浜市健康福祉総合センター 9階 ボランティアルーム |
| 参加者 | 鶴見区災害ボランティアネットワーク（運営委員長） 南区災害救援ボランティアネットワーク 港南区災害ボランティアネットワーク 磯子区災害ボランティアネットワーク 金沢区災害ボランティアネットワーク 泉区災害ボランティア連絡会 瀬谷区災害ボランティアネットワーク <オブザーバー>横浜市市民局市民活動支援課 <事務局>横浜市社会福祉協議会市民活動支援課 <div style="text-align: right;">計 12 名</div> |

【議 題】

1 ニュースレターについて

(1) NO. 53 進捗状況について

事務局より、別紙レイアウト案を示した。9月に校了予定としたい。内容等は、今後メール等で運営委員に確認して進めて行く。

《質疑・意見等》

- 『会員紹介』のページでは、団体の連絡先(電話番号)を掲載した方が良い。
→団体名の横に「TEL」を入れることとする（団体に掲載希望を確認する）

- 今後、「個人会員」の扱いはどうするのか。
→どこかの団体に入ってもらうのは難しい。個人会員の日常的な対応はボラセンが行う。
個人会員のグループをつくり、代表者を運営委員として出席できるようにするのはどうか。
→今後の課題として検討していく

- 『会員募集』の頁では、入会を呼びかけるような、例えば、「一緒に取り組んでくれませんか？」などの具体的アクションの文言を入れてほしい。また、「ここにご連絡ください」「あなたのご意見をお聞かせください」などの表現も工夫して入れてほしい。さらに、災ボラネットワークの目的・概要を改めて記載し、入会に結びつけていく。

- 個人会員の活動について（個人会員は市の管轄になるのか？）
→市災ボラとして受け入れるイメージはない。基本的には、各区で活動することになると思われる。市災ボラでの活動を希望されれば拒むことはないが、市として管理をするというものではない（事務局）
→個人会員に対して、その目的や意図をはっきりしておくことが求められる。市災ボラへの入会の目的として市域での活動を希望されている人もいる。
→運営マニュアルを作成した際に個人会員に入ってもらったこともある。運営のスタッフとしても想定できる。（市民局）

(2) NO. 54の発行の紹介団体候補について

①南区(確定)、②磯子区(確定)、③港南区(確定)、④YMCA(候補。後日願います)

2 支援者向けコーディネータースキルアップ研修について

(事務局) 前回の運営委員会で、内容の大まかな方向性は決まっているため、具体的な検討を行いたい。

○被災者で写真を撮り続けている人がいる。

○被災について、過去の話のみではなく、「これからどうすればいいか」という話がよい

○外国籍の人のことに特化した人。災害看護学、赤十字の先生。

コミュニケーションだけでなく、宗教上配慮すべきこと、食べられないものなどの話

○ネパールのボランティア活動をしてきた人の話

○『物流』について、医療のことや水道のことなども含めて、具体的な話がほしい。

緊急時の物資運搬についてや、区の集積場所についてなど、行政の考え方が知りたい。

→(市民局)総務局の管轄となるが、どこまでの話が可能かどうか確認したい。

→行政職員も対象の研修であるため、行政計画を聞くのみでなく、それを受けてどう考えていくか、の視点も含めたものの方が良い。

→行政側と物流などの会社(佐川急便など)の双方からの話はどうか

→市全体の方針や市計画について、総務局に今後確認していく必要があり、これらについては、今後災ボラ運営委員会メンバー等での勉強会のテーマで取り上げたらどうかということとなった(または、各区のDIG等に反映していくなど)

★最終的な結論として、外国籍の方の問題(どう接するか、配慮すべきことは何か等)を学ぶ研修とすることとなった。講師については、災ボラ会員でもあるYOKEに依頼する。開催日程については、当初予定のとおりでYOKEと調整していく。

3 こども災害ボランティアコーディネーター講座(仮称)について

・12/13(日)の本番では、どこかの学校か、災ボラの市域の会員団体(ボーイ、ガール、YMCAなど)で行うか。

→今回は市域団体や各区の中で声掛けをする。最低20名。親同伴でなくてもいいが、必ず責任者には同行してもらう。

・プレ実施については、**大人**(コアメンバー)だけで行う。10月頃開催できれば良い。

(後日日程調整する。16時から4時間くらいを予定)

【報告事項】

1 ブロック別連絡会開催状況

・Aブロック→実施なし

・Bブロック→6月の合同訓練について。時間が短かったが様々な課題が見えた。各区の書式が本当に通用するかなど、見直しを目的に実施した。次回：10/20

・Cブロック→7/30 旭区社協で実施。各区の訓練や総会の実施状況について共有。宿泊場所の確保やボランティアへの案内を出来るようにすることが問題提起された。各区で訓練等を行っているが、区ごとにマニュアルが違うため、互いの訓練等に参加したらどうかとの意見も出た。

トイレの場所や避難場所など、地元の人には当たり前のことを平時から地図に落とし込んでおく。ICTを活用し、PC上に地図を落とし込んでおく。

次回：11/13。泉区が事務局だが場所は旭区。

・Dブロック→次回：9/1

2 その他

- 名札札シールについて、のりの材質を検討する。(事務局より)
- 災ボラの市域団体との連携を目的として、本年度ヒアリングを実施しており、先般、市民活動支援センターのヒアリングを行った。
 - ・市の災害ボランティア支援センターの運営にどのように関わっていただけるか。
 - ・帰宅困難者の受け入れが役割としてあるが、その後の連携について、NPO や NGO から入ってきた情報を発信・共有ができそうである、との話題が出た。今後、マニュアルや訓練に反映していきたい。
 - ・次回：YOKE を予定。

| |
|--------------------------|
| 次回運営委員会： 10/15(木) 18:00～ |
|--------------------------|